

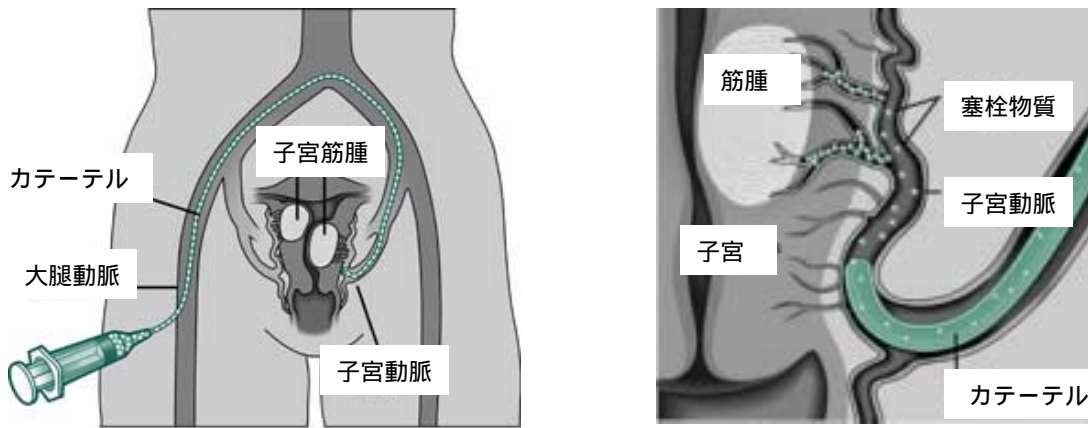
子宮動脈塞栓術 (UAE : Uterine Artery Embolization)

1. UAE とは？

太ももの付け根を 5mm 程度切開して血管カテーテルを挿入し、塞栓物質を使用して、子宮動脈(子宮を栄養する血管)を塞ぎます。

これにより、子宮筋腫に向かう血液を減らし、筋腫を縮小することができます。子宮筋腫の容積は3ヶ月で50%、6~12ヶ月で30%にまで減少します。

治療直後の痛みを軽減するため、当院ではペインクリニック科と協力し、硬膜外麻酔を行っています。



2. UAE の適応

筋腫による症状(過多月経、月経困難など)があるもの

今後妊娠の予定のないもの

ただし、筋腫の種類により適応とならない場合もあります。

3. 代わりうるその他の治療法

子宮全摘術(腹腔鏡下、腹式、膣式)

筋腫核出術(腹腔鏡下、腹式)

4. UAE の長所

入院期間は4泊5日と短い。

子宮が温存できます。

お腹に大きな傷が残りません。

5. UAE の短所

症状が改善せず別の治療法が必要となることがあります(10~15%)。

子宮筋腫を摘出しないため、良性か悪性かの病理検査ができません。

UAE の際には、注腸検査の2倍程度の被爆があります(10cGy 程度)。

6 . UAE の副作用・合併症

硬膜外麻酔施行時：

背中から細い管を脊髄のそばに挿入し、麻酔薬を持続投与する方法です。それにより、持続的に局所の鎮痛を得ることができ、意識がなくなることはありません。頭痛や血圧低下、腰痛などが起きることがあります。

UAE 施行時（血管造影に関する副作用）：

局所麻酔薬、造影剤のアレルギー、カテーテルによる血管損傷、刺入部位の皮下血腫、術後の肺塞栓症などがあります。頻度はいずれもまれです。

UAE 施行時：

- ・下腹部痛はほぼ 100%に認められます。強い痛みは UAE 直後から約 6～12 時間持続します。その後、数日～1 週間程度は軽い痛みがあります。直後の痛みについては強力な麻酔法である硬膜外麻酔を併用することにより、軽減しています。
- ・発熱
- ・悪心・嘔吐
- ・UAE 後には数%で無月経が生じると報告されています。その大半は 45 歳以上で、多くの場合一過性であり、閉経にいたるのはその中でも 1%程度といわれています。
- ・UAE 後、数%で感染を生じます。それを防ぐため、治療前から予防的に抗生剤を投与します。膿瘍形成など、重度の感染のために子宮全摘術を必要とする頻度は 0.4～0.5%程度といわれています。

6 . UAE にかかる費用

UAE は現在の健康保険の適応外となっています。そのため自費扱いとなっており、実際にかかる費用は約 40～50 万円です。

7 . 入院スケジュール

入院	治療当日	1 日目	2 日目	3 日目
シャワー	点滴、硬膜外麻酔挿入	歩行開始	硬膜外チューブ	採血、
鼠径部剃毛	尿道カテーテル挿入	尿道カテ	抜去	診察
ペインクリニック 受診	夕方より食事開始	抜去		退院